

コード	講義名				
T 40	ITプロジェクトのテスト設計				
日時	2026 年 9/1 (火) ～ 2026 年 9/2 (水)				
会場	オン	時間	9 : 30 ～ 16 : 30		
時間	12	昼休み	12 : 00 ～ 13 : 00		
区分	16	レベル	Lv2	価格 (税込)	¥ 78,100
講義の目的・趣旨					
<p>理想的なテストとは、より少ないテスト量で、より多くの欠陥を見つけることができるテストです。この実現には、テストケースとしてモレがないように網羅性を考慮しつつ、テスト技法を活用して効果的なテスト設計を行い、求められる品質水準とテストに投入することができる工数・コスト・期間をトレードオフで検討し、テスト計画として事前に明確にしておくことが重要です。本コースでは、テスト計画、テスト技法、テスト設計、テスト管理を体系的に学ぶことができます。</p> <p><具体的な受講目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト計画書に記載すべき内容を理解する ・漏れのないテストを行うために、様々なテスト網羅性の指針について理解する ・様々なテスト技法の特徴と適用方法を習得する ・ケーススタディを通し単体テスト、結合テスト、総合テストのテスト設計書に記述すべきテストケースについて習得する 					
カリキュラム					
<p><1日目></p> <p>1章 テストに対する心構え テストの難しさ、テストの目的、良いテストとは</p> <p>2章 テストライフサイクルとテスト計画 システム開発におけるテストの位置付け、テストフェーズ、体制、テストの種類、テスト計画</p> <p>3章 テスト網羅性の指針 ソフトウェアの品質特性、構造ベース、仕様ベース、設計者・有識者による網羅性の補完、品質指標値、リスクベーステスト、エラー推測</p> <p>4章 テスト技法 制御フロー、同値分割、限界値分析、ドメイン分析、状態遷移、デシジョンテーブル、ペア構成テスト</p> <p>●グループ演習：テスト技法</p> <p>5章 テスト設計・準備における留意事項 テスト設計における留意事項、テスト準備における留意事項</p> <p>●グループ演習：テスト設計書評価</p> <p><2日目></p> <p>6章 単体テスト設計 単体テストの目的と内容、設計の単位、設計の観点、進め方の手順</p> <p>●グループ演習 単体テスト設計</p> <p>7章 結合テスト設計 結合テストの目的と内容、設計の単位、設計の観点、進め方の手順</p> <p>8章 総合テスト設計 総合テストの目的と内容、設計の単位、設計の観点、進め方の手順</p> <p>●グループ演習 総合テスト設計</p> <p>9章 テスト管理 ソフトウェア開発とテスト、テスト密度とバグ密度、ゾーン分析</p> <p>●グループ演習 テスト品質管理</p>					

【会場】

宮崎：宮崎会場（MSC）

都城：都城会場（都城コアカレッジ）

宮・オン：宮崎会場・オンライン

サテライト：サテライト運営（富士通ラーニングメディア）